

平成 21 年改訂版

土木工事積算編集委員会 編

# わかりやすい土木工事積算

## - 実務者のための積算入門

本書は当初、主として公共工事の発注機関の積算の入門者、初心者を対象に出版されたが、昭和 58 年度から中央省庁が公共工事の積算基準を公開したことに伴い、そのねらいの一つである「受注者の見積り能力の向上に資する」という観点も加えて、その対象を発注者職員主体から、公共工事の受注者まで広げ、その趣旨に合わせた大幅な内容の改訂増補を行ってきた。

この度、平成 21 年改訂版として、土木工事積算の実務に携わる人により参考になるよう、最新積算データに更新し、改訂したものである。



定価 2,900 円 A4 判 370 頁  
(消費税込、送料本会負担)

- 〔改訂内容〕
- ・土木工事標準歩掛の改正
  - ・土木工事間接工事費率の改正
  - ・施工単価の改正等

### 主な目次

- |                  |                          |
|------------------|--------------------------|
| 1 編 積算の一般共通事項    | 4 編 港湾工事の積算              |
| 2 編 積算の留意点と各種の積算 | 5 編 橋梁工事の積算              |
| 3 編 下水道工事の積算     | 6 編 災害復旧事業の積算 (査定設計書の作成) |

### 申込・問合せ先

社団法人 全日本建設技術協会 企画課

〒107-0052 東京都港区赤坂 3-21-13 昭栄赤坂ビル7 階

TEL 03-3585-4546 FAX 03-3586-6640

e-mail :kikaku@zenken.dion.ne.jp

http : //www.zenken.com/

三菱東京 UFJ 銀行赤坂支店 普通 5313577 郵便振替 00150-1-4928  
ゆうちょ銀行〇一九店 当座 0004928

## 土木工事標準歩掛の改正

---

土木工事標準歩掛は、土木請負工事費の積算に用いる標準的な施工条件における単位施工量当たりの労務、材料、機械の運転時間等の所要量（歩掛）について、各々の工種ごとに表したものです。

土木工事標準歩掛の改正は、「施工合理化調査」の結果を踏まえ、既存制定工種の歩掛改正及び全国的に普及し施工頻度の増えてきた工種の新規制定を行っています。

今回、「鋼管・既製コンクリート杭工（中堀工）」など10工種の歩掛見直し、及び「砂防ソイルセメント工」の新規制定を行いました。

### ○施工合理化調査とは：

施工合理化調査は、土木工事における労務、材料、機械の運転時間等の所要量等の施工の実態を把握するための調査です。

土木工事の施工形態は、社会環境の変化、使用機械の多様化、新技術・新工法の開発など、施工を取り巻く状況の変化等に伴い常に変化しています。

施工合理化調査は、毎年実施している「施工形態動向調査」の中から、施工形態の変化が見られた工種について、変動量および変動理由を調査するために実施しています。

## 土木工事間接工事費率の改正

---

近年の不調・不落工事の増加を踏まえ、「共通仮設費（率計上分）」及び「現場管理費」の間接工事費率について、実態調査の結果に基づき、3大都市（東京23区、横浜市、川崎市、名古屋市、大阪市の市街地）で行う鋼橋架設工事、舗装工事、電線共同溝、道路維持工事を対象に大都市補正を導入します。

なお、今回の間接工事費の率補正は、あくまでも第1弾としての位置づけであり、今後、他の大都市についても不調・不調傾向の大きい中心的都市を視野に入れて、実態調査に基づくデータを収集・分析し、有意なデータが得られたことを確認の上、順次対象都市及び工種を拡大する予定です。

### ○共通仮設費とは：

共通仮設費は、工事の施工において、共通的に必要な経費。

具体的には、機械等の運搬費、準備や跡片付けに要する費用等の準備費、工事現場の安全対策に要する安全費、品質管理・出来形管理・工程管理に要する技術管理費、現場事務所等の営繕費など。

### ○現場管理費とは：

現場管理費は、工事施工において、品質管理、工程管理、原価管理、労務管理、安全管理などいわゆる工事監理を実施するために必要な経費。

具体的には、工事現場で工事監理を行う従業員の給料手当、現場労働者の交通費、安全訓練費等、現場従業員の法定福利費、下請の一般管理費等など。